

2024年度 聴講生募集要項

千葉商科大学

1. 聴講生制度について

この制度は、本学基盤教育機構・商経学部・政策情報学部・サービス創造学部・人間社会学部が開設している授業科目のうち、特に志望する特定の科目について勉学をしたい人のために、授業の聴講を認める制度です。

2. 出願資格

本学の聴講生として出願できる者は、次の通りです。

- (1) 高等学校を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2024年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2024年3月までにこれに該当する見込みの者

注. 外国籍の者については、各学期末（春学期：2024年9月30日、秋学期：2025年3月31日）までの在留資格を有する者としてします。なお、学歴を証明する書類等、別途提出していただく場合がありますので、出願前にお問い合わせください。

3. 出願方法等

(1) 出願書類

- ア 聴講申込書（本学所定用紙）
- イ 健康診断書（疾病及び身体機能の障害のため、聴講に特別な配慮を必要とする者のみ）
6ヵ月以内に医師が作成した診断書（様式任意）を提出してください。
- ウ 写真2枚（1枚は聴講申込書所定欄に貼付。1枚は、聴講許可後に本学での身分証明書用として使用。）
最近3ヵ月以内に撮影した顔写真とし、縦4cm×横3cmの大きさに提出してください。
（写真は顔の部分が縦3cm×横2.4cmに収まるように撮影のこと）

(2) 出願受付期間

<春学期>

郵送受付 2024年1月31日（水）～2月14日（水）※締切日消印有効

<秋学期>

郵送受付 2024年7月31日（水）～8月16日（金）※締切日消印有効

(3) 書類提出及び問合せ先

郵送先 〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3番1号 千葉商科大学 教務課

窓口 千葉商科大学本館2階 教務課
（受付時間 平日9時～17時）

問合せ先 047-373-9754 又は（e-mail）kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp

(4) 選考方法

書類審査とします。但し、書類の記載内容について確認する必要がある場合は、面接を実施することがあります。面接を実施する場合は、出願受付期間終了後3日以内に該当者にご連絡します。

(5) 面接日

当日は、本学本館2階教務課に集合してください。面接時間は追ってご連絡いたします。

<春学期> 2024年2月28日(水)

<秋学期> 2024年8月28日(水)

(6) 選考結果通知発送日

<春学期> 2024年3月6日(水)

<秋学期> 2024年9月4日(水)

※電話等による選考結果についての問い合わせには、一切応じません。

(7) 聴講登録料及び聴講料の納入期限

選考の結果、聴講生として授業科目の聴講を認められた者は、聴講登録料及び聴講料を、次により納入してください。

ア 聴講登録料 15,000円

但し、本学卒業生及び過去において聴講生又は科目等履修生であった者は、納入の必要はありません。

イ 聴講料 1学期・1科目につき25,000円

ウ 納入方法 選考結果通知時に同封する振込用紙を使用して、銀行に振り込んでください。なお、振込手数料は出願者にてご負担ください。

エ 納入期限 <春学期> 2024年3月20日(水)

<秋学期> 2024年9月18日(水)

(8) 聴講可能科目数

ア 1学期に5科目までとします。

イ 聴講申込科目名を別紙の開講科目一覧の中から選択し、聴講申込書の所定欄に記入してください。但し、正規学生の受講状況等によっては、聴講をご遠慮願う科目もありますので、あらかじめご了承ください。

(9) 不開講について

二次履修登録期間の終了時点において、本学在学学生による履修者が3名以下の場合、授業を開講しないことがあります。

4. 出願手続上の注意事項

(1) 出願書類は郵送又は窓口受付とし、郵送による出願の場合は、簡易書留速達郵便で送付してください。なお、書類を提出する際は、任意の封筒に「聴講生出願書類在中」と朱記してください。

(2) 出願書類に不備があった場合は、受理しません。

(3) 一度受理した書類、聴講登録料及び聴講料は、返還しません。

5. 授業開始日 <春学期> 2024年4月13日(土)

<秋学期> 2024年10月11日(金)

個人情報の取扱いについて

志願者の個人情報(氏名、住所、出身校名、その他当該志願者と特定できる情報)は、本学の個人情報保護方針に基づき、適正に管理します。

なお、聴講生の選考及び聴講登録に関する事、並びに個人を特定できない統計資料作成以外の目的に使用することはありません。

2024年度 科目等履修生・聴講生開講科目一覧

I. 授業実施形式

本学の授業の実施形式は、対面授業または遠隔授業（オンデマンド型・リアルタイム型）となります。下記授業科目に【遠隔授業】の付記がない科目は、対面での授業となります。

- ・オンデマンド型の遠隔授業とは
本学のCUC PORTALやMicrosoft Teams等のシステムを利用して受講する授業です。履修者は教員が指定する課題（録画された授業動画や資料等）を指定の期間内に各自学修します。授業の詳細は、シラバスを確認してください。
- ・リアルタイム型の遠隔授業とは
Microsoft Teams等のシステムを利用して受講する授業です。履修者は、教員がリアルタイム配信する授業動画を視聴し、課題に取り組みます。授業の詳細は、シラバスを確認してください。

II. シラバス

シラバスは、以下の本学サイトをご確認ください。

<https://portal.cuc.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>

III. 共通教養科目群

授 業 科 目		
宇宙科学	音楽史	言語学
エネルギー論【オンデマンド型の遠隔授業】	カウンセリング心理学	現代中国の思想
数と計算	教育学	古典日本文学
環境と倫理	近代日本文学	社会思想史【オンデマンド型の遠隔授業】
健康科学【リアルタイム型の遠隔授業】	実学への招待【リアルタイム型の遠隔授業】	宗教学
コーチング論	生物学入門	心理学入門
自然科学入門	生命と倫理	性格心理学
情報と倫理【オンデマンド型の遠隔授業】	地球科学	世界の文学
数学	地球環境論	哲学
観光文化論	統計学入門	日本史
グローバル・アジア論	物理学	Global Studies
経済と社会	生物と機能	世界の紛争と平和
現代社会と宗教	生活環境論	日本の文化【オンデマンド型の遠隔授業】
国際関係論	政治学入門【オンデマンド型の遠隔授業】	東アジア文化論
ジェンダー論	地理学と社会	美術史
社会学	日本現代社会論	ヨーロッパの歴史
社会調査法	日本政治史	倫理学
社会ネットワーク論	文化人類学	論理学
商業と倫理	法学	Film Studies
アジアの歴史	民俗学	歴史学入門
アメリカの文学と文化	Global Studies	
イギリスの文学と文化	世界の紛争と平和	

IV. 外国語科目群

授 業 科 目		
基礎英語I	基礎中国語文法I	フランス語IV
基礎英語II	基礎中国語文法II	スペイン語I
スポーツ英語	中級中国語I	スペイン語II
ビジネス英語I	中級中国語II	スペイン語III
ビジネス英語II	ドイツ語I	スペイン語IV
中級英語I	ドイツ語II	韓国語I
中級英語II	ドイツ語III	韓国語II
中級英語III	フランス語I	韓国語III
基礎中国語会話I	フランス語II	韓国語IV
基礎中国語会話II	フランス語III	

V. 情報科目群

授 業 科 目
ICT基礎

VI. 簿記会計科目群

授 業 科 目
会計学への扉【オンデマンド型の遠隔授業】

Ⅶ. 専門科目群

【開講学部：商経学部】

授 業 科 目		
Web情報デザイン	環境経済学	実験経済学
アメリカ経済論	管理会計論I	社会政策
アメリカ文化論	管理会計論II	社会保障論
イギリス文化論	観光文化論実践	商学総論
インターネット社会論	企業と社会	商業中国語
オーラル・コミュニケーション(1)	企業家精神論	商品開発論
オーラル・コミュニケーション(2)	企業金融論I	商品学
オーラル・コミュニケーション(3)	企業金融論II	商品評価論
オーラル・コミュニケーション(4)	企業経営体験講義	商法I
グローバル・マーケティング論I	起業の実践	商法II
グローバル・マーケティング論II	起業の理論【オンデマンド型の遠隔授業】	消費者金融論
ケースで学ぶマーケティング戦略	起業基礎実践	消費者行動論【オンデマンド型の遠隔授業】
ゲーム理論	技術イノベーション	証券市場論I
コーポレートガバナンス	技術開発論	証券市場論II
コミュニケーション・グラマー(1)	金融機関論	上級簿記I
コミュニケーション・グラマー(2)	金融商品取引法I	上級簿記II
コンピュータシステム	金融商品取引法II	情報システム設計
コンピュータ会計論I	金融論I	情報システム論【オンデマンド型の遠隔授業】
コンピュータ会計論II	金融論II	情報ビジネス論
サービスマーケティング論	刑法I	情報メディア論
ソーシャル・マーケティング論	刑法II	情報科学概論【オンデマンド型の遠隔授業】
デリバティブ入門	経営管理論【オンデマンド型の遠隔授業】	情報技術論【オンデマンド型の遠隔授業】
ネットワーク管理I	経営実践	情報資源管理
ネットワーク管理II	経営情報システム論	情報処理
ビジネスコミュニケーション論	経営情報概論	情報数学
ビジネス実践	経営情報処理	職業指導
ビジネス倫理	経営診断学I	人間関係論
ファイナンス・プランニング論	経営診断学II	人的資源管理
ファイナンス入門	経営戦略論【オンデマンド型の遠隔授業】	政治経済学基礎
ブランド論	経営組織論I	生産システム論
プログラミングI	経営組織論II【オンデマンド型の遠隔授業】	生産管理
プログラミングII	経営分析I	西洋経済史
マーケティング・コミュニケーション	経営分析II	税効果会計論
マーケティング・リサーチ論I	経済史I	税法I
マーケティング・リサーチ論II	経済史II	税法II
マーケティングマネジメント	経済成長論	税務会計論I【オンデマンド型の遠隔授業】
マーケティング論I【オンデマンド型の遠隔授業】	経済政策I	税務会計論II
マーケティング論II【オンデマンド型の遠隔授業】	経済政策II	組織イノベーション【オンデマンド型の遠隔授業】
マクロ経済学基礎	経済地理I	地域開発論
マクロ経済学上級	経済地理II	地域産業論
マクロ経済学中級	経済統計基礎	地域流通診断の理論と実践
ミクロ経済学基礎	経済統計上級	地中海文化論
ミクロ経済学上級	経済統計中級	地方財政論
ミクロ経済学中級	経済法I	中級簿記I
ヨーロッパ経済論	経済法II	中級簿記II
ヨーロッパ文化論	計量経済学	中国の社会とビジネス
ライティング(1)	憲法I	中国ビジネスコミュニケーション基礎
ライティング(2)	憲法II	中国ビジネスコミュニケーション実践
ライティング(3)	原価計算論I	中小企業経営論
リーダーシップ論	原価計算論II	中小企業診断I
リーディング(1)	現代の日本経済	中小企業診断II
リーディング(2)	現代企業論	中小企業政策論
異文化マネジメント	現代産業論	中小企業論入門
異文化理解論(1)	交通経済学	電子商取引実践
異文化理解論(2)	公共経済学	電子商取引論
映像情報処理I	公共政策	日本と世界経済
映像情報処理II	工業簿記I	農業経済学
英語音声学(1)	工業簿記II	物流論
英語音声学(2)	行政法I	保険論I
英語音声学特講(1)	行政法II	保険論II
英語音声学特講(2)	行動経済学	貿易英語I
英語学(1)	国際会計論	貿易英語II
英語学(2)	国際金融論	貿易論I
英文学(1)	国際経営	貿易論II
英文学(2)	国際経済論I	民法(1)I
応用情報処理	国際経済論II	民法(1)II
音楽情報デザインI	国際取引法I	民法(2)I
音楽情報デザインII	国際取引法II	民法(2)II
会計学総論I	財政学I	与信管理論A
会計学総論II	財政学II	与信管理論B
会計監査論I	財務会計論I	流通システム論
会計監査論II	財務会計論II	流通経済論I
会社法I	財務報告論	流通経済論II
会社法II	産業政策論	連結会計論I【オンデマンド型の遠隔授業】
外国為替論I	産業組織論	連結会計論II【オンデマンド型の遠隔授業】
外書講読I	市場戦略論	労働法I
外書講読II	時事英語	労働法II

【開講学部：政策情報学部】

春学期 授業科目	秋学期 授業科目
授業科目名	授業科目名
民法	日本史特論
法学各論	行政法
政治学特論	刑法
法学基礎	都市政策・計画論
世界史特論	環境社会学
地域文化政策論	非営利組織論
都市計画入門	環境アセスメント
コミュニティ形成論	政策プロセス論
環境学入門	行政学
環境政策論	経済学特論
合意形成論	憲法特論
公共政策論	社会学特論
地域経済論	コミュニティ政策論
経営学	経営戦略論
記号と社会	マーケティング論
表現メディア論【リアルタイム型の遠隔授業】	色彩学【リアルタイム型の遠隔授業】
地域政策論	日本経済論
情報処理技術（ハードウェア）【リアルタイム型の遠隔授業】	情報処理技術（ソフトウェア）【リアルタイム型の遠隔授業】

【開講学部：サービス創造学部】

春学期 授業科目	秋学期 授業科目
観光政策サービス論	スポーツ・エンターテインメントサービス論
サービス創造入門2	物流サービス論
ブライダルサービス論	

【開講学部：人間社会学部】

春学期 授業科目	秋学期 授業科目
福祉住環境論	まちづくり論
環境と経済	観光社会学
	アジアの経済と社会

VIII. 注意事項

1. 開講学期については教務課までお問い合わせください。
教務課 E-mail:kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp
2. 単位は全て2単位となります。